三位　矢田真輝（町田）
　　松尾泰幹（天武館）

▼小学四年生の部
優勝　井立了仁（栖本）
二位　浦本京志桜（天武館）
三位　若杉鉄平（天武館）
　　岡部栞奈（有明）

▼小学五年生の部
優勝　萩原胡桃（有明）
二位　赤城天孔（下津浦）
三位　岡田大幸（牛深）
　　濱崎優希奈（牛深）

▼小学六年生の部
優勝　松本拓海（天武館）
二位　倉田　僚（天武館）
三位　村野　集（牛深）
　　堀田一尚（若竹会）

▼中学一年生の部
優勝　吉田大誠（栖本）
二位　松崎智也（有明）
三位　猪原健太郎（栖本）
　　坂本和紀（栖本）

▼中学二年生の部
優勝　枚本秀真（牛深）
二位　坂田健祥（姫戸）
三位　山中浩輔（牛深）
　　松永悠助（今津）

▼中学三年生の部
優勝　竹井恵太（牛深）
二位　松下博文（今津）
三位　石原大稚（栖本）
　　吉田将太（栖本）

平成二十一年度天草秋季剣道大会
平成二十一年十一月一日（日）
天草市総合武道館剣道場
（　）内は優秀選手

▼小学四年生以下の部
優勝　天武館A（浦本京志桜）
二位　二江光声会（中元公誠）
三位　有明剣道A（岡部栞奈）
三位　有明剣道B（萩原真弥）

▼小学五・六年の部
優勝　河浦少剣（坂本拓海）
二位　玉成館A（渡邊一史）
三位　天附少剣（花田草太）
三位　天武館（荒木彪弥）

▼中学生の部
優勝　栖本中学校A（井立周作）
二位　牛深中学校A（山中浩輔）
三位　有明中学校A（園田珠里）
三位　牛深中学校B（見分愛海）

第二十八回熊日旗争奪天草地区一般剣道大会・天草地区小学校招待剣道大会
平成二十二年二月二十八日（日）
天草市総合武道場剣道場

▼小学生男子の部
優勝　天武館
二位　二江少年剣道クラブ
　　光声会
三位　本渡剣友会
三位　下津浦少年剣道クラブ

▼小学生女子の部
優勝　二江少年剣道クラブ
二位　天武館
三位　富津小剣道部
三位　楠浦剣友会

▼一般の部
優勝　有明町
二位　牛深
三位　本渡A
三位　倉岳町剣友会

平成二十一年度　称号・段位合格者

次の方々が合格されました。おめでとうございます。今後益々のご精進とご活躍を期待致します。（　）は合格時年齢

剣道七段
（京都・四月三十日）
岡田康二（46）

剣道錬士
（東京・十月十七日）
金子十郎（57）野崎純一（47）

剣道六段
（福岡・八月二十三日）
山下誠悟（56）

剣道五段
（熊本武道館・十二月六日）
鶴本徹（25）濵川天（25）高濱祐治（27）

剣道四段
（浜線健康パーク・八月二日）
小野哲也（37）深水広一（40）平山三思（50）
（玉名市武道館・八月二十三日）
平井貴博（27）

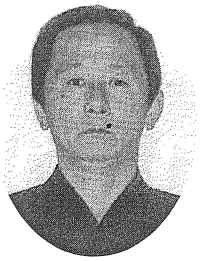
剣道三段
（天草市総合武道館・八月二日）平井貴久（27）吉田大地（21）
（天草市総合武道館・十二月三日）松永一志（36）岩崎次男（49）半田善晴（53）

剣道二段
（天草市総合武道館・八月二日）宝塚成任（48）

剣道初段
（天草市総合武道館・十二月三日）江上友美（38）梅本かおり（39）

私が剣道を始めてから現在まで（六段合格まで）

山下誠悟



私が剣道を始めたのは二十六の時からです。きっかけは兄がUターンして来てからのことです。その頃は姫戸町で剣道愛好者がいなく、指導してもらえる先生との巡り合わせもなく、兄と二人でやり始めました。一年二年と経つうちに、二人三人と仲間が増え、一緒に稽古していくうちに私も三段まで段位を取得し、仲間と一緒に郡大会等、大会に出るようになりました。その頃、他にいろんなスポーツも流行っており、あれをやりこれをやりで、剣道に身が入らず十年位過ごしました。その間は少年剣道の指導はやっていたので、剣道からは離れず、四十才位まで続きました、私が剣道を続けているのも子供達（少年剣士）のおかげだと思っています。

その後他のスポーツをやめ、本格的に剣道を始め、廻りでは四段、五段と取得されており、その影響を受けてか、私も挑戦しようと思い始めました。その頃になるといろんな先生方とも巡り会い、一年間はその稽古に励み、中心を外さない、手元を上げない、と指導を受けながら、うまく課題をクリアーできないまま、五十%、六十%の仕上がりで審査に臨みました。四段は五回、五段は初回でと取得していったら四十五才を過ぎていました。

それからやがて五年の月日が経ち、六段審査を受ける資格が出てきました。私は幾度となく審査を受け、今回平成二十一年八月二十四日、福岡にてやっと合格することが出来ました。それまでは集中力、気迫、くやしさも足りず、これでは駄目だと思い、昨年一月からいろんな課題に取り組みました。初心に返ってまずは発声。これが簡単なようで難しく、次に間合い、呼吸、近間にならないように攻めて、溜める。これも難しく、打とうと気持ちがはやり、益田先生から「（打つのは）まだ早い」と注意をいただき、攻めながら相手の動きをしっかり見る心がけ一点に絞って稽古を続けました。水曜日は武道館、金曜日はアロマと、ほとんど休みなく、西山先生、益田先生、その他の先生の指導を受けながら徐々に気持ちの入った稽古が少しは出来ていったと思います。

福岡の審査会では相手の審査状況は見ないで、邪心がはいらないように集中力と平常心で臨めたと思います。

まだまだ六段として完全なものではありませんが、これからもコツコツと前に向かって、そして子供達の指導をしながら、剣道を楽しみながら健康管理の一つとしてもやって行きたいと思います。真剣にご指導くださった先生方、一緒に稽古をしていただいた会員の皆様、本当にありがとうございました。今後も六段の名に恥じないよう精進していきたいと思います。

編集後記

熊日旗大会や出身高校別大会などで、天草にいても年に一、二回しかお会いしない方に試合会場でお目にかかることがある。また、遠方に住んでおられる方も、乞われて、あるいは自ら進んで、はるばる来島して参加されている。いずれも日頃はなかなか稽古の時間を確保できていないのではと拝察する。そんな事をH氏に話したら、「年一回二回でもこの様な大会に出ることで剣道を続けられているのでは。」と意外な感想が返ってきた。なるほどそんな効用が大会にはあるのだな、と妙に得心してしまった。だが望むらくは、老いも若きも生涯剣道を目指して、時間を捻出して稽古に励み、試合だけでは得られない剣道の魅力と楽しみを見つけて欲しい。それが剣道人としての幸せと、とりもなおさず連盟の発展につながると思う。春本番、防具を担いで道場に行きましょう。第二道場も待っています。